

モルドバ月報

2022年6月〔モルドバの報道をもとに作成〕

令和4年7月1日 在モルドバ大使館

【主な出来事】

- 17日、欧州委員会がEU加盟国に対してモルドバとウクライナにEU加盟候補国のステータスを付与することを推薦。
- 23日、欧州理事会がモルドバとウクライナにEU加盟候補国ステータスを付与。
- 23日、ウクライナ情勢を受けた緊急事態の6月24日から45日間（8月7日まで）延長。
- 23日、トランスニストリア地域のテロ警戒レベル「イエロー」期間が7月8日まで延長。
- 27日、サンドウ大統領のウクライナ訪問。

1. 内政

● ウクライナ情勢を受けた緊急事態の延長

23日、モルドバ議会は、ウクライナ情勢を受けた緊急事態を6月24日から45日間（8月7日まで）延長することを決定した。

トランスニストリア関連

● テロ警戒レベル「イエロー」期間の延長

8日、テロ警戒レベルの「イエロー」期間が23日まで延長された。23日には、7月8日までの再延長が決定された。

2. 外政

● サンドウ大統領のロッテルダム訪問

5月31日－6月1日、サンドウ大統領はロッテルダムで行われた欧州人民党大会に出席し、スピーチをした。そのフリンジで、オーストリア首相、チェコ大統領、クロアチア首相、ギリシャ首相、ラトビア首相、ルーマニア首相、スロバキア首相ベルギー副首相兼財務相、蘭副首相兼外相、欧州議長、また欧州各国の人民党グループ所属の党首等と会談した。

● サンドウ大統領と独外相の電話会談

2日、サンドウ大統領はヘアボック独外相と電話会談を行い、地域の安全保障、モルドバの欧州統合等について議論した。サンドウ大統領は、ウクライナ避難民対応への支援に感謝した。

● 西首相の当地訪問

3日、サンドウ大統領は当地を訪問したサンチェス西首相と会談し、二国間関係及びウクライナ戦争について議論した。サンドウ大統領は、西との経済協力、再生可能エネルギー、気候変動の影響の排除、水資源の扱い、ゴミのマネージメント、大学間協力での協力促進に興味を示した。また、西在住のモルドバ人ディアスポラ関連分野での西政府の対応、モルドバのEU加盟に対する支援に謝意を表明した。同日、ガブリリツァ首相もサンチェス西首相と会談した。

● ルーマニア下院一行の当地訪問

6日、サンドウ大統領は、ルーマニア下院議員一行と面会し、地域情勢及び二国間関係について議論した。サンドウ大統領は、これまでのルーマニアからの支援に謝意を述べ、とりわけエネルギー安全保障と新たな投資につながる輸送インフラ分野で良好な協力関係を継続したい旨述べた。また、両国間の国境での渋滞解消に向けたルーマニア政府のなるべく迅速な対応を求めた。ルーマニアはモルドバのEU統合に向けた支援を表明した。同日、ガブリリツァ首相もルーマニア下院議員一行と別途面会した。

● サンドウ大統領とブルガリア首相の電話会談

6日、サンドウ大統領はペトコフ・ブルガリア首相と電話会談を行い、地域の安全保障状況及びモルドバが直面する各種危機への対応、モルドバの国内改革、EU統合、二国間関係の深化について議論した。

● セレブリアン副首相（トランスニストリア問題担当）のルーマニア訪問

6日、セレブリアン副首相（トランスニストリア問題担当）はルーマニアを訪問し、アウレスク・ルーマニア外相、クツ上院議長等と二国間協力、モルドバのEU加盟、トランスニストリア問題等について議論した。

- **サンドウ大統領とルーマニア王位守護者の電話会談**

8日、サンドウ大統領はマルガレタ・ルーマニア王位守護者と電話会談し、モルドバとルーマニア王室の協力の機会について議論し、ルーマニア王室によるモルドバのEU統合に向けた努力に対する支援を感謝した。

- **ポベスク外務・欧州統合相のブリュッセル、パリ訪問**

8-9日、ポベスク外務・欧州統合相はブリュッセルにて、欧州委員会によるEU加盟候補国に関する推薦の発表を見越し、欧州各機関の要人との会談を行った。

9-10日、ポベスク外務・欧州統合相はパリにて、コロナ仏外相等との会談を行った他、欧州安全保障研究所の会議に登壇し、モルドバ人ディアスポラとのミーティングを行った。

- **ノサトゥイ国防相のルーマニア訪問**

8日、ノサトゥイ国防相はルーマニアを訪問し、チウカ・ルーマニア首相及びディンク・ルーマニア国防相と二国間の軍事協力、地域情勢、ルーマニアからの支援等につき議論した。

- **サンドウ大統領とガブリリツァ首相のギリシャ訪問（SEECP 参加）**

10日、サンドウ大統領とガブリリツァ首相はギリシャで行われたSEECP（南東欧協力プロセス）サミットに出席した他、各国首脳と会談を行った。

- **サンドウ大統領と独大統領の電話会談**

10日、サンドウ大統領はシュタインマイヤー独大統領と電話会談を行い、地域情勢及びウクライナ戦争の社会的、経済的影響について議論した。サンドウ大統領は、ウクライナ避難民対応及びモルドバの発展のために独から提供された支援に感謝した。

- **ガブリリツァ首相とルーマニア首相の会談**

10日、ガブリリツァ首相はチウカ・ルーマニア首相と会談を行い、両国間の国境での貨物トラックの渋滞解消について協議した他、レウシェニ（モルドバ側）-アルピツァ（ルーマニア側）の国境地点を訪問した。

- **ガブリリツァ首相とポベスク外務・欧州統合相のカタール訪問**

11-13日、ガブリリツァ首相とポベスク外務・欧州統合相はカタールを訪問し、カタールの首長、首相、カタール財団代表、カタール人ビジネスマン等と面会した。首相との面会では、両国の外交関係樹立25周年の文脈で、モルドバへの投資の可能性、地域情勢、エネルギー問題について議論した。ガブリリツァ首相は、過去数年のカタールの食料安全保障強化及びソーシャルセクター支援の前進を評価し、農業分野及び教育、保健分野での協力についても議論した。また、今回の訪問中に、一般旅券での短期滞在の査証免除の合意書、及び農業分野での経済協力と技術・科学協力の合意書に署名が行われた。

- **仏大統領及び仏外相の当地訪問**

15日、サンドウ大統領は当地を訪問したマクロン仏大統領と会談を行い、モルドバのEU加盟、二国間案件について議論した。ポベスク外務・欧州統合相は、コロナ仏外相と会談を行った他、3つの合意文書（①二重関税防止及び所得税の脱税防止に係る二国間協定、②仏開発庁（A f D）、Proparco 及び Expertise France のモルドバ国内での活動に関する二国間合意、③モルドバ-A f D間の借款契約）への署名を行った。

- **ガブリリツァ首相とポルトガル首相の電話会談**

15日、ガブリリツァ首相はコスタ・ポルトガル首相と電話会談を行い、ウクライナ情勢、それに対するモルドバ当局の取組及び現在生じている問題へのレジリエンスについて議論した。

- **ガブリリツァ首相とハンガリー首相の電話会談**

16日、ガブリリツァ首相はオルバーン・ハンガリー首相と電話会談を行い、モルドバのEU加盟、二国間関係の強化、投資誘致等について議論した。

- **欧州委員会によるEU加盟候補国ステータス付与の推薦**

17日、欧州委員会はEU加盟国に対してモルドバとウクライナにEU加盟候補国のステータスを付与することを推薦した。サンドウ大統領、ガブリリツァ首相、ポベスク外務・欧州統合相等は右推薦を歓迎する声明を発表した。

- **モルドバとルーマニアの議会の共同セッション開催**

18日、モルドバ議会とルーマニア議会はキシナウにて議共同セッションを開催し、モルドバのEU統合やウクライナ戦争の文脈での地域の安全保障の変化等、様々な分野における二国間協力を目的とする共同声明が採択された。

- **サンドウ大統領と前独首相の電話会談**

20日、サンドウ大統領はメルケル前独首相と電話会談を行い、モルドバのEU加盟について議論した。

- **サンドウ大統領とフィンランド首相の電話会談**

20日、サンドゥ大統領はマリン・フィンランド首相と電話会談を行い、欧州委員会によるモルドバへのEU加盟候補国ステータス付与の推薦について協議した。サンドゥ大統領はモルドバのEU加盟へのコミットメントを確認した。

- **サンドゥ大統領と蘭首相の電話会談**

21日、サンドゥ大統領はルッテ蘭首相と電話会談を行い、モルドバのEU加盟等につき議論した。

- **ポベスク外務・欧州統合相とデンマーク外相の電話会談**

21日、ポベスク外務・欧州統合相はコフォズ・デンマーク外相と電話会談を行い、モルドバのEU加盟について議論した。

- **サンドゥ大統領とリトアニア大統領の電話会談**

22日、サンドゥ大統領はナウセダ・リトアニア大統領と電話会談し、欧州委員会によるモルドバへのEU加盟候補国ステータス付与の推薦について協議した。

- **サンドゥ大統領とエストニア首相の電話会談**

22日、サンドゥ大統領はカラス・エストニア首相と電話会談を行い、欧州委員会によるモルドバへのEU加盟候補国ステータス付与の推薦について協議した。

- **ポベスク外務・欧州統合相のイスラエル観光エージェントへの観光プレゼン行事への参加**

22日、ポベスク外務・欧州統合相は、イスラエルとの経済、文化関係進展の目的で、イスラエルの観光エージェントに対するモルドバの観光分野のプレゼン行事に参加した。

- **サンドゥ大統領とウクライナ大統領の電話会談**

23日、サンドゥ大統領はゼレンスキー・ウクライナ大統領と欧州理事会の会合に先だって電話会談を行い、EU加盟に向けて両国で協力する事で一致した。

- **欧州理事会によるEU加盟候補国ステータス付与**

23日、欧州理事会はモルドバとウクライナにEU加盟候補国のステータスを付与した。サンドゥ大統領、ガブリリツァ首相、ポベスク外務・欧州統合相等は右決定を歓迎する声明を発表した。

- **サンドゥ大統領等のウクライナ訪問**

27日、サンドゥ大統領はウクライナ（キーウ、イルピン、ブチャ、ボロディアンカ）を訪問し、キーウではゼレンスキー・ウクライナ大統領と会談した。会談でサンドゥ大統領は、ウクライナから輸送される貨物及びウクライナに向けて運ばれる貨物の輸送路を整えるため、モルドバ国内の輸送能力強化に努める旨発言し、両者は経済・エネルギー分野、及びEU加盟に向けて両国で協力することで一致した。訪問には、スプヌ副首相兼インフラ・地域開発相も同行した。

- **ポベスク外務・欧州統合相のブリュッセル訪問（ブリュッセル・フォーラム出席）**

28日、ポベスク外務・欧州統合相はブリュッセルを訪問し、ブリュッセル・フォーラムに登壇した他、ルノー・バツソ欧州復興開発銀港総裁、メツォラ欧州議会議長等と会談を行った。

3. 経済

- **2022年第一四半期平均給与月給496ドル**

2日、国家統計局は2022年第一四半期平均月給が9,561レイ（496ドル）であったと発表した。前年同期比では12.9%増。

- **国立銀行、基本金利18.5%に引き上げ**

3日、国立銀行は6度続けて基本金利の引き上げを発表し、18.5%（現行より3%増）にすることを決定した。

- **ウクライナ企業より電力購入**

3日、ウクライナのEnergoatom社（原子力発電会社）は6月4日より85,200メガワットの電力を1メガワットあたり77ドルでモルドバへ供給すると公表した。

- **2022年初頭の定住者数、対前年2.3万人減**

3日、国家統計局は2022年1月1日におけるモルドバ定住者は260.4万人（暫定データ、トランスニストリア地域を除く）で前年比2.3万人減と発表した。1.6万人が自然な人口減少、6,700人が海外への出稼ぎによるもの。

- **2021年国立銀行の収支報告**

3日、国立銀行は2021年の収益は1,072百万レイ（56百万ドル）、対前年比27.8%増と発表した。主な要因は、公的準備資産の運用による収入の減少（3155百万レイ減）により、国家予算に計上し得る収益は294百万MDLに増加したため。

- **電気料金、7月より現行から22%の値上げ**

8日、国家エネルギー規制庁は、プレミエル・エネジー社が供給する（国全体の70%をカバー）家庭向けの電気料金を7月1日より21.7%値上げの1キロワットあたり2.64レイ（0.14ドル）とすることを承認した。

- **EU、モルドバ産農産物の輸出増加を促進**

9日、欧州委員会はモルドバからEUへの輸入に際し関税割当制度対象の7品目について、一時的にEU市場へのアクセス改善を可能にする規則を提案した。これはロシアによるウクライナへの侵略によりモルドバが主要な農産物の市場を失ったことに対処するためにEUの連帯を示すものである。対象品目は、モルドバからEUへの輸出がまだ完全に自由化されていない7品目であるすもも、ぶどう、りんご、トマト、ニンニク、さくらんぼ、ぶどうジュース。

- **2022年5月の年間インフレ率29.05%**

10日、国家統計局は、2021年5月の年間インフレ率が対前年同期比29.05%を記録したと発表した。内訳は、食品32.5%増、非食品21.45%増、サービス35.27%増が含まれる。特に顕著な増加は、天然ガス227%増、集中暖房92%増、石油製品53%増、電力34%増。

対先月比の平均消費者物価は2.04%上昇し、対2021年12月比では17.57%上昇。

- **ルーマニアと国境緊急対応のためのプロジェクトを開始**

10日、モルドバ・ルーマニア国境における緊急対応プロジェクトの開始式が開催された。EUが出資するルーマニアとモルドバの共同運営プログラムの枠組みによる2.6百万ユーロの支援により、バルツィとヤシに緊急対応センターを整備する。

- **アゼルバイジャンより天然ガス購入の可能性**

13日、スプヌ副首相兼インフラ・地域発展相は、モルドバはアゼルバイジャンよりガスを購入するチャンスがある、時期は未定だが近年のうちにそうなると約束すると述べた。

- **2022年第一四半期のエネルギー資源の輸入額、前年同期比約3倍**

14日、2022年第一四半期のエネルギー資源の輸入額は前年同期比2.8倍と報道された。天然ガスは4.1倍、石炭は2.4倍、石油製品（ディーゼル、ガソリン）は1.9倍。

- **2022年1月～4月貿易統計**

15日、国家統計局は2022年1月～4月の輸出総額が1,459百万ドル、対前年同期比61.6%増と発表した。増加の主な要因は、穀物253百万ドル（対前年同期比570%増）、種と果実油176百万ドル（同50%増）、果物油139百万ドル（同452%増）。同期間の輸入総額は2,808百万ドル、対前年同期比32.9%増。貿易赤字は1,349百万ドルで11.5%増。

同期間の日本への輸出は0.98百万ドル、前年同期比30%増。日本からの輸入は15.7百万ドル、24%減。

- **2022年第一四半期GDP成長率1.1%**

15日、国家統計局は2022年第一四半期の名目GDPが563億ドル、対前年同期比1.1%増と発表した。増加の要因は、商業（GDPの15.8%を占める）がGDP1.7%増に貢献、金融業（同3.6%）同0.4%増に貢献等。減少の要因は、不動産業（GDPの7.6%を占める）がGDP0.7%減に影響、製造業（同11.2%）が同0.3%減に影響等。

- **プルト川にかかるレウシェニールビタ間に道路橋新設の可能性**

17日、道路交通分野におけるモルドバ・ルーマニア合同委員会が開催され、以下のことに合意した。レウシェニールビタ間に道路橋新設の交渉開始、プルト川に新しい橋を架けるための調査の精緻化、8月1日より「第三国認可」を利用した貨物輸送を自由化等。

- **2022年1～5月海外送金628百万ドル**

22日、国立銀行は、今年1～5月、海外からの送金が628.2百万ドル、前年同期比3.6%減と公表した。

- **小麦輸出禁止措置の解除**

24日、国家緊急事態委員会は小麦及び小麦粉の輸出禁止措置を解除した。砂糖の輸出禁止措置は継続。

- **ウクライナと鉄道接続の発展に関する覚書に署名**

26日、スプヌ副首相兼インフラ・地域発展相は、クブラコフ・ウクライナ・インフラ相と鉄道接続の発展に関する覚書に署名した。クブラコフ・インフラ相によれば、モルドバとウクライナはモルドバのバサラベスカ及びウクライナのベレジノ間の鉄道を復旧することでモルドバ企業は混雑しているレニ港でなく、ドナウ川のイスマイル港経由で輸出入できるようになり、ウクライナ企業がモルドバおよびEUに商品を輸出することができるようになる見込み。

- **2022年5月時点の国家債務、前月時点より20億レイ（100百万ドル）減少**

27日、財務省は2022年5月時点の国家債務は792億レイ（2021年GDPの32.7%相当）で、2022年初めより1.8%増加し、前月時点より20億レイ（100百万ドル）増加したと発表した。

- **EU・モルドバ・ウクライナ間の商用電力送電開始見込み**

28日、欧州送電系統運用者ネットワーク（ENTSO-E）は、ウクライナと周辺諸国との間における商用電力送電の第1段階となる技術的要件が満たされたと公表した。6月30日より、ウクライナとルーマニア間での相互接続を予定している。モルドバ・ルーマニア間を含む他の相互接続もその後順次開始される予定。

- **EUと道路運送自由化協定に署名**

29日、スプヌ副首相兼インフラ・地域発展大臣とベシュ・ム（理事会議長国）地方自治体担当大臣が、モルドバとEUの道路運送自由化協定に関する協定に調印した。モルドバの輸送業者は特別な認可を受けることなくEU諸国を通過することが可能となる見込み。

- **ウクライナ、モルドバを通過する列車の試験運転実施**

29日、ウクライナ鉄道会社とモルドバ鉄道会社はモギレフ・ポジュールスキーからレニ（ドナウ川の港）まで、モルドバ領内を通過する列車の試験運転を行ったと発表した。これまで本ルートは移動に4～5日を要していたが、現在は3,600両の列車が30時間で移動できるようになった。ウクライナの貨物輸送列車は1日8本まで増やす予定。

4. 経済協力

- **EU、エネルギー危機に10百万ユーロ融資**

2日、UNDPはEUとの連携によるEUからの10百万ユーロの資金供与により、モルドバにおけるエネルギー危機に対処する新規プログラムを開始した。プログラムはエネルギー効率と再生可能エネルギーに注力する。モルドバの人口の60%がエネルギーの貧困に直面しており、家計予算の10%以上を電気代に費やしている。

- **世銀、対モルドバ150.24百万ドル融資を承認**

2日、世界銀行理事会は150.24百万ドルの緊急対応・回復・競争力強化開発政策を承認した。モルドバ政府がウクライナ戦争による難民や家計への影響を緩和し、今後のショックに対する脆弱性を軽減するための強靭性を構築、競争力強化を支援することが目的。本融資はモルドバで進行中の社会経済的危機に対処するために準備されたIMF、EU、EBRDを含む国際社会からの協調財政支援パッケージの一部である。

- **USAID、制度・構造改革プログラムを開始**

3日、USAIDは35百万ドルを支援し、制度・構造改革プログラムを開始すると発表した。貿易促進、デジタル化、輸送・物流、金融セクター改革等の制度改革を通じた経済発展への貢献が目的。

- **IMF岡村副専務理事のモルドバ訪問**

13日、サンドウ大統領は岡村IMF副専務理事と面会し、IMFがモルドバにおける改革を支援していることを示しにモルドバに訪問したと述べた。同副専務理事は13日～14日の訪問において、ガブリリツァ首相、スプヌ副首相兼インフラ・地域発展相、プディアンスキ財務相及びスピタリ労働・社会保障相等と面会した。

- **EBRD、エネルギー確保に300百万ユーロ融資**

24日、スプヌ副首相兼インフラ・地域・発展相とパトロンEBRD東欧・コーカサス担当専務は、戦略的なガス調達を通じたエネルギー安全保障強化のための300百万ユーロの融資協定に署名した。200万ユーロをガスの調達、100万ユーロをルーマニアもしくはウクライナにおける戦略的ガス貯蔵施設創設に使用する見込み。

- **世銀、中小零細企業支援に50百万ユーロ融資**

27日、世界銀行理事会は、モルドバの中小零細企業支援の新規プロジェクトに50百万ユーロの融資を承認した。プロジェクトは金融へのアクセスの改善、モルドバ企業の輸出競争力強化及び緊急時における迅速な対応を目的としている。

5. トランスニストリア地域

- **2021年GDP成長率25.3%**

30日、2021年トランスニストリア地域の名目 GDP 成長率は25.3%、12億ドルと公表された。工業生産は35%増、輸出48%増、小売20%増及び固定資産投資27%増。

6. 対日関係

- **日本政府とIOMの支援による医薬品、キシノウ癌センターへ寄付**
1日、日本政府とIOMの支援による医薬品がキシノウ癌センターへ寄付された。本医薬品は15万5千ドル以上相当で約250人のウクライナ避難民患者を含む癌患者の治療に使用される見込み。
- **医療分野における草の根無償資金協力協定締結**
6日、保健省は日本政府が草の根プログラムを通じ、バルダル保健センター及びレオバ保健センターに合計7.4万ドルの医療機器を供与すると発表した。
- **日・モルドバ政務協議**
7日、日・モルドバ政務協議（モルドバ側はドブング外務・欧州統合省次官、日本側は徳田外務省欧州局審議官がヘッド）が東京にて行われ、二国間の政治・外交関係、ビジネス・経済関係及び文化関係の強化、開発援助、国際機関を通じた協力、欧州とアジアの地域情勢について話し合われた。
- **MIYAVI・UNHCR 親善大使のモルドバ訪問**
16日、オダイニク外務・欧州統合省官房長官代行は、日本の音楽家 MIYAVI・UNHCR 親善大使、ボネリ UNHCR モルドバ事務所長及び片山在モルドバ日本大使と面会した。オダイニク官房長官代行は日本政府及び日本国民からのモルドバ支援に感謝を述べた。